会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室 担当職員 鈴木 智
日 時		平成29年1月26日(木曜日)		開 議 午前 10時 00分 閉 議 午前 10時 26分
出席委員		◎菱田 ○奥村(広聴部会長) ○山本(広報部会長) 富谷 小川 並河 竹田 平本 (欠席:三上)		
出席理事者				
事務局出席者		門事務局長、山内次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、池永主任、山末主事		
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名	議員0名()

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

[菱田委員長 開議]

1 広報部会活動

(1) 議会だより臨時号の発行について

[山本副委員長 説明]

・2月15日に臨時会が予定されており、議会だより臨時号を発行するかどうか、広報広聴会議として幹事会に申し入れるため、この場で意見をまとめたい。

<並河委員>

臨時会が開催されるのであれば、議会だより臨時号を発行すればよい。

<菱田委員長>

議会だよりの臨時号は発行することでよいか。

—全員了—

<山本副委員長>

議会だより臨時号の発行は3月15日である。編集は広報部会で進める。

2 広聴部会活動

(1) 2年間の総括について

(2) 次年度に向けて(方向性・引き継ぎ等)

- ・議会報告会について
- ・わがまちトーク(自治会版)について
- ・わがまちトーク(各種団体版)について
- ・次年度実施計画(案)について

[奥村副委員長 説明]

- ・広聴部会で今年度の活動を踏まえ、意見を取りまとめたので来年度に申し送りたいと考える。
- ・議会報告会は、来年度も年2回実施する。3月定例会の報告は4月に実施する等を考えていく。議会だよりを使って説明するのではなく、議会閉会后に委員長報告等を参考として広聴部会で資料を作成して説明することとしたい。
- ・わがまちトーク(自治会版)は、5自治会と開催したが、事前に自治会と調整する中、地域の実情もよくわかることができるなど、充実した内容で開催できた。また、

今年度に意見を交わした内容は、来年度にも再度話し合うなどの対応をとるべきである。来年度もこの通り実施することとしたい。

- ・わがまちトーク（各種団体版）は、キラリ☆亀岡お知らせを活用する等、広報の方法を工夫して来年度も実施することとしたい。

<小川委員>

議会報告会は実施しないという意見はなかったのか。

<奥村副委員長>

議会基本条例にも定められており、実施しないという意見はなかった。開催場所や時間を工夫すべきとの意見はあった。

<小川委員>

より多く参加いただけるよう、広くお知らせすべきだと考える。わがまちトークは有意義に開催できたと思っている。

<平本委員>

宮津市での議会報告会は、議会だよりのゲラ版を利用して説明している。

<菱田委員長>

定例会が閉会し早い段階で議会報告会を開催するのであれば、ゲラ版を使用するのも一つの方法となるとの意見が広聴部会であった。もし、議会だよりで説明するのであれば、それ以外の内容も説明すればよいのではないか。

<山本副委員長>

議会報告会は年2回開催し、予算と決算の説明を行う。また、希望される自治会とわがまちトークを開催する方法がよいと考える。また、議会報告会の資料を別に作成するのは大変だと思うので、従来通り議会だよりに使ってはどうか。掲載されていないことも説明すればよい。

<奥村副委員長>

広聴部会では委員長報告を参考にして、資料を作成してはどうかとの意見があった。議会だよりに使うのが本来一番よいが、先に発行されているので新鮮味がなくなる。このため、議会だよりのゲラ版を使うのがよいと考えている。

<山本副委員長>

議会だよりのゲラ版は、参加者に配付することはできないので、この点は考慮いただきたい。

<菱田委員長>

前期に行政視察に行った際、議会報告会で議会だよりに使用されていたので、その方法を参考にして、本市議会でも実施することとなった。議会での討論内容の説明については、様々な意見が出る中で対応を考えなければならない。議会としての説明責任を果たすため、議会報告会、わがまちトークを活用できたらと考える。

3 その他

<菱田委員長>

西口議長から中学生議会について報告があった。内容としては、中学校の校長会議で中学生議会の実施について検討いただいた結果、平成29年度は実施せず、平成30年度の実施に向けて検討することが決定されたとのことである。

その他、全体を通して意見はないか。

<竹田委員>

市の行事等で、議員が写真をたくさん撮っている。その際に、少なくともシャッター音を鳴らないようにできないのか。いかがなものかとの声がある。写真を撮るの

であれば、小型カメラで音を消して撮影する等の方法を考えるべきだと考える。

<菱田委員長>

議員が気を付けなければならないことである。

<竹田委員>

例えば、職員がいる場合は後で写真をもらう等の方法もある。

<菱田委員長>

タブレット等は音が消せず画面も大きい。このことについても申し送りたい。

<小川委員>

議会だよりやフェイスブックの写真を撮影する時のために、広報の腕章をつくってもよいと考える。

<並河委員>

式典で自席から撮影する等、個人的なことに対しての意見ではないのか。個人としては自粛すべきだと考える。広報活動であれば、後ろの方から撮影する等により対応できるのではないか。

<竹田委員>

このことは、広報活動として考えるべき内容である。例えば腕章をつけていれば、撮影することができる。個人のことに关しては、各議員で気を付けるべきである。

<菱田委員長>

議会として広報活動をしていることを、PRしていくことも大切である。誤解を招かないようにしていきたい。

<菱田委員長>

1年間の広報広聴会議の活動を通じて、各委員にお世話になり感謝する。今後の広報広聴活動もよろしくお願いいたします。

散会 10:26